

学生研究業績一覧（2019年4月1日～2020年3月31日）及び前年度補遺

関 恭平 明治大学大学院文学研究科博士後期課程3年（日本文学専攻）

【学術論文等】

1. 「源氏物語における田舎・鄙の表現法—明石の君・玉鬘・浮舟に着目して—」（『文学研究論集』五一号，明治大学大学院文学研究科，2019年9月）
-

中島 皓輝 明治大学大学院文学研究科博士後期課程1年（史学専攻）

【講演・学会・研究会発表】

1. 「9・10世紀における衛府主典の性格—年預制との関わり—」（歴史学研究会古代史部会7月例会サマーセミナー準備報告会，明治大学，2019年7月13日）
2. 「9～10世紀における衛府主典の性格—年預制との関わり—」（第47回古代史サマーセミナー，国立歴史民俗博物館（千葉県），2019年8月23日）
3. 「諸請の構造—平安中・後期における下級官人任用の一形態」（大阪大学・関西大学・京府立大学・明治大学4大学合同考古学・古代史大学院生研究交流プログラム，大阪大学，2020年1月12日）
4. 「本宮請の性格」（国史学会1月例会，國學院大學，2020年1月25日）

【学内・学外における社会的活動等】

1. 2019年度文学研究科歴史学教育研究振興資金助成金採用
-

里館 翔大 明治大学大学院文学研究科博士後期課程3年（史学専攻）

【学術論文等】

1. 「平安時代の鞠智城周辺の国内情勢」（『鞠智城と古代社会』第7号，pp.19-37，熊本県教育委員会編，2019年3月）〈補遺〉
 2. 「『浄御原令式』の特性と採用の意義」（『駿台史学』第166号，pp.1-23，駿台史学会編，2019年3月）〈補遺〉
- 【資料・研究ノート等】
1. 新刊紹介「市川市史歴史編Ⅲ編集委員会編『市川市史 歴史編Ⅲ—まつりごとの展開—（通巻3）』（『千葉史学』第74号，pp.40-42，千葉歴史学会編，2019年5月）

【講演・学会・研究会発表】

1. 「平安時代の戸籍制度の機能—延喜年間戸籍の検討を中心に—」（2019年度駿台史学会，明治大学，2019年12月7日）
2. 「制度と利用からみる平安時代の籍帳」（第10回明治大学・高麗大学国際学術会議「日韓の文学・史学研究の諸問題」，明治大学，2019年11月16日）
3. 「下総国戸籍の概要と比定地」（第47回古代史サマーセミナー（千葉）全大会シンポジウム「古代の郡と郷をさぐる—下総国印旛の事例を中心に—」，国立歴史民俗博物館，2019年8月24日）
4. 「五十戸と公民制」（歴史学研究会日本古代史部会3月例会，明治大学，2019年3月23日）〈補遺〉
5. 「平安時代の鞠智城周辺の国内情勢」（第7回鞠智城跡「特別研究」成果報告会，くまもと県民交流館パレア，2019年3月17日）〈補遺〉

【学内・学外における社会的活動等】

1. 2019年度明治大学文学部助手
 2. 公益財団法人高梨学術奨励基金 2019年度若手研究助成採用，研究課題名「平安時代の戸籍制度の意識と機能の研究」
-